

ホルン 岡本 和也 Kazuya Okamoto vol.36



## 大学在学中、フリーの仕事をしてながら各地のオーディションを受験

### ♪楽器を始めたきっかけは？

中学校の吹奏楽部に入部し、人気があったトランペットやトロンボーンではなく、あまり人気のなかったホルンを選びました。ケースの中にあったホルンの形が気に入ったのです。高校も吹奏楽部。大学受験の時期になったとき、楽器で受験できる大学があるらしい！お得！と思って芸術大学を受けました。

### ♪オーケストラプレイヤーを目指したきっかけは？

大学ではオーケストラの授業があって、その一回目がブラームスの交響曲第1番でした。始まってすぐに「すごい！」と思ったことがきっかけになるのかな。プレイヤーになる道は大変だけれどこれで生計が立てられたら…と、学生生活を過ごしながらだんだん思うようになり、在学中から(英語が好きだったのか一年余計に通いましたが(笑))フリーの仕事をしてながらオーディションを受けていました。その年は、北は札幌から南は九州までオーディションが5つあり、山響の次は広響を受けるつもりでした。

### ♪山形でお気に入りのもの、場所は？

全国各地に演奏に行きますが、食べ物は山形が一番美味しいです。演奏旅行から帰ってきてラーメンを食べるにしても、山形で食べるのが結局一番美味しい。ふと食べたいと思うものが山形のものだったりしますね。また、冬は蔵王にスキーに行きます。てっぺんのお地藏さんのところが天気が良いと最高です！全市町村に温泉があるのも、様々訪れるのが楽しみの一つです。

### ♪好きな作曲家・曲は？

モーツァルトはたくさんのお名曲を長年演奏してきたので、思い入れがあります。フランス近現代の曲が好きで、フランスの先生にちょっと習ったこともあります。ラヴェル、サティ、そしてプーランクが特に好きです。好きな曲は、マスカーニの「カヴァレリア・ルスティカーナ」の間奏曲、それから、いろいろな作曲家のピアノ協奏曲の第2楽章も好き。モーツァルトやラフマニノフなど、2楽章は特に美しい。2楽章はホルンが暇なので、ステージの一番良い場所で堪能できるのも良いところです(笑)。

### ♪ホルンの魅力は何ですか？

音色でしょう。金管楽器だけどものすごく繊細な表現が求められる。右手の使い方も魅力かな。特にナチュラルホルンは、右手のみで音色や音程を変えています。

### ♪好きなホルン奏者は？

オーケストラにはそれぞれ看板奏者がいて、学生時代に聴いていた、ウィーンフィルのローラント・ベルガー、ドイツのゲルト・ザイフェルト、N響の千葉馨先生など、オケの顔になっている人ばかり。チェコフィルのズデニェク・ティルシャルは、オケ中での演奏もソロの演奏も好きで、実際に生の演奏を聴く機会もありましたが、とても軽やかに吹いていたのが印象的でした。

### ♪使用している楽器について教えてください。

学生の頃に聴いていた音のイメージがあり、当時の人たちが使っていた楽器を探して使うのが好きです。普段使っているのはパックスマン。現在のモデルではなく、僕がオーケストラに入る前に製造されていた楽器。1985年にモデルチェンジしたそれ以前のもので、クルスバ、ヤマハなども曲やイメージに合わせて使い分けています。他に、セルマーやアレキサンダー、ナチュラルホルンはユングヴィルトを使っています。

### ♪バボラーク氏について

彼の日本デビュー時のオーケストラ伴奏が山響なのはご存じですか？1995年に酒田で「ホルンフェスティバル」が開催され、彼とシューマン、ウェーバーを演奏したことはよく覚えています。まだ彼は20歳そこそこだったと思いますが、今でも考えられないような圧倒的な演奏で衝撃でした。まさか、山響の指揮者として共演することになるとは…!!

### ♪休みの日の過ごし方は？趣味・特技はありますか？

疲れが取れるまで寝ます(笑)。掃除や家のことをして、それでも一日何もないとしたら…冬はスキーに行きたいし、季節の良いときには海で釣りをしたいですね。機械いじりも好きで、PCなど動かないものを動くようにするのが得意です。

### ♪最後に、お客様へのメッセージをお願いします。

これからも更に発展し続ける山響の演奏にぜひご期待ください！